

2026-27年度 公共イメージ・IT 委員会 活動方針

公共イメージ・IT 委員会

委員長 善方邦彦(福島 RC)

ロータリーの崇高な理念と献身的な奉仕は、これまで世界によりよき変化をもたらしてきました。しかし、まことに残念ながらその活動の多くが広く知られているとは言えません。よくわからない団体には入会するはずがありませんし、あらゆる活動においてパフォーマンスを向上させるには社会の人々に受け入れられ、その一員として共存していることが前提となります。

ロータリーが公共イメージの向上に取り組み始めてから早、四半世紀が過ぎました。時代は常に変化しています。果たしてロータリアンとして今を生きる私たちは変化できているのでしょうか？

変化する時代とロータリーの公共イメージ

現代は SNS をはじめとする様々なツールやメディアによって、否応なしに、また良くも悪くも情報が瞬く間に拡散します。このような時代においてロータリーの活動をより多くの人々に知っていただくためには、クラブとロータリアンが自ら積極的かつ能動的に情報を発信していただく必要があります。私たち公共イメージ・IT 委員会の役割は、これをサポートしていくことです。当委員会では金田ガバナーエレクトの方針に基づき、次に示すフォーカスポイントを設定いたしました。

3つのフォーカスポイント

1. 「認知」から「共感」へ

- 。例会プログラムの羅列や会報、あるいは懇親会の写真を UP するだけではロータリーの真の姿を伝えることにはなりません。「なぜその活動が必要なのか、

そしてその活動によって誰(どこ)に、どんなよい変化をもたらすのか」というストーリーを伝えることで、人々の共感を呼び起こします。

- 。 奉仕活動を通して得られた感動を、ぜひみなさん自身の言葉で発信してください。日々の生活の中で、ロータリーの理念を体現し、その魅力をまずは最も身近な人々に伝えてくださることが、何よりも強力でリアリティーのある広報活動となります。

2. 「点」から「線」へ、そして「面」へ

- 。 これまでの広報活動に加え、地区委員会や複数分区、多クラブ合同での活動をサポートすることで一体感の醸成を図ります。
- 。 地区のウェブサイトや SNS を積極的に活用し、各クラブの活動を広く共有することで相乗効果を生み出します。また、地区公式 LINE アカountの本格的運用を開始し、ロータリアンへ地区からダイレクトかつタイムリーに情報を届け、地区行事への参加率と帰属意識の向上につなげます。

3. 「内側」から「外側」へ

- 。 ICT の活用とブランディングのケミストリーによって「開かれたロータリー」を目指し、地区とクラブの運営最適化を支援します。AI などの新しいテクノロジーの導入支援を目的に ICT に関するセミナーの開催予定。
- 。 公式ロゴの適正な使用を徹底しつつ、地区公式マスコットキャラクター『ベこまる』の活用、SNS や動画コンテンツを充実などの広報活動を通じて、ロータリーに対する親近感の向上に努めます。

公共イメージの向上には、すべての地区委員会と各クラブ、そしてすべてのロータリアンの「連帯」と「連携」が不可欠です。当委員会は公共イメージの向上や ICT の活用促進を通じて、ロータリーがその存在感を高め、クラブが持続可能なインパクトを生み出し、「世界を変える行動人」として地域社会から信頼されるべく、その活動をアシストしてまいります。

これを読んでいただいている今、この瞬間からみなさんも「ロータリーのアンバサダー」、

つまり代弁者であり広報大使です。公共イメージ向上に対して矜持を胸に高い熱量で取り組んでいただけることをお願い申し上げます。